

TPP「聖域」守れない



「交渉参加は亡国への道」 —笠井晃衆院議員が予算委で追及

日本共産党の笠井晃議員は3月8日の衆院予算委員会で基本的質疑に立ち、環太平洋連携協定（TPP）問題で安倍晋三内閣の姿勢をただしました。

（写真）パネルを示して質問する
笠井晃議員＝8日、衆院予算委

日本共産党

笠井「新規参加国は不利な条件を押し付けられる」 首相「ぼやっとしている」と答えられず

TPP問題で笠井氏はカナダとメキシコが昨年6月に交渉に加わる際、（1）先行して交渉してきた9カ国が合意した条文はすべて受け入れる（2）将来、ある交渉分野について9カ国が合意した場合、その合意に従う（3）交渉を打ち切る権利は9カ国にあり、遅れて交渉入りした国には認められない—ことが条件とされていると指摘。いくら「聖域を守る」といっても守れなくなると追及しました。

安倍首相はそうした参加条件については「判然としない」「ぼやっとしている」と答弁しました。

笠井氏は「判然としない状況で参加したら大変な状況になる。参加できないはずだ」と指摘。安倍首相は「いま検討しているのは交渉参加の判断であってTPPの締結ではない」と言い訳しました。

笠井「ぼやっとした状態で交渉参加できるはずがない」 首相「守るものは守る」とごまかす

笠井氏は、政府が昨年3月に公表した文書で「新規交渉参加国に求める共通の条件」として（1）包括的で質の高い協定への約束（2）合意済みの部分をそのまま受け入れ、議論を蒸し返さないこと（3）交渉の進展を遅らせないこと—が明記されているとして「すでに昨年3月の段階で把握していたはずだ」と強調。岸田文雄外相は「引き続き情報収集に努めている」と

繰り返すだけでした。

笠井氏は、安倍首相が野党時代、「情報公開はほとんどない」などと当時の民主党政権を批判していたことに言及。「その批判は安倍総理にそのまま返ってくる。国民や国会には都合の悪い情報を出さず、国のあり方の根本、国益にかかわる重大問題で拙速に結論を出そうとする。こんな姿勢は許されない」と批判しました。

●真実がわかる 明日が見える—「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）

国政事務所ニュース

2013年
3月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

日本共産党 検索

TPP 不参加しかない

参院予算委

日本共産党

紙議員迫る



(写真) 質問する紙智子議員(右手前) = 19日、参院予算委

2月19日の参院予算委員会で環太平洋連携協定(TPP)交渉参加問題についてただした日本共産党の紙智子議員。自民党が総選挙で掲げた公約を守るというのなら、「TPP交渉不参加」という選択肢しかないことが浮き彫りになりました。

紙議員「総選挙公約守るのか」 首相「6項目念頭に日米会談」

自民党は総選挙で「国民皆保険制度を守る」などの「6項目」を公約。しかし、政府が衆院に提出した「統一見解」には「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加に反対」とした1項目しか記していません。

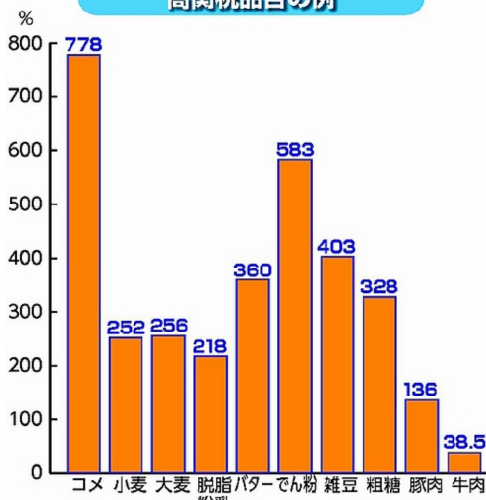
「6項目がセット」

紙 公約では六つがセットだ。国民は公約が違ったのかと思う。

安倍晋三首相 「聖域なき関税撤廃」以外の残りの5項目も踏まえて(交渉参加を)判断していく考えだ。

紙氏は、林芳正農水相に対しても1項目しか守らないというのかと追及。林氏は「政権公約だから、(6項目に)反することが明白な場合は、交渉参加は難しい」と答えました。

わが国における
高関税品目の例



※この他にもコンニャク(1706%)などの重要品目があります

出所:農林水産省資料に基づき紙智子事務所作成

さらに紙氏は、「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加に反対する」とする公約についても大きな問題があると追及。

現在、高率の関税がかけられている品目を列記したパネル(グラフ)を掲げ、「『聖域』の範囲は重要品

目すべてを対象にしているのか」とただしました。

紙議員「全品目 聖域か」 首相「関税撤廃かどうか確認」

紙 重要品目はこれだけある。どこまで対象にするのか。
首相 個別項目については、影響を勘案して判断していく。

2011年11月の衆院予算委員会で林芳正議員(現農水相)は「(例外措置は)何年でゼロにするかという例外はあっても、関税が残るという例外はないのだ」と野田佳彦首相(当時)を追及し、例外を認めさせても5~10年で関税ゼロとなると確認していました。

紙 (例外措置について)質問をした認識は変わらないのか。

林農水相 当時は野党議員として質問した。

紙 変わってないということか。

農水相 とくに変わってない。

紙氏の追及に林農水相は変わってないと認め、さらに「さきほどの6項目を政調会長代理としてとりまとめた」と述べました。

紙 総理、やはりTPP交渉に参加しないという選択肢しかないではないか。

首相 関税撤廃なのかどうか確かめてみないとわからない。

紙氏は、ニュージーランドは、例外を認めるよう求めている日本のTPP交渉参加を認めていないことに言及。「日本の主権を損なうものだから国民は不安に思っている。自民党が示した6項目をみたら、そもそもTPP参加自体が成り立たない」と強調しました。

紙 守らないなら重大な公約違反であり、国民は許さないだろう。日米首脳会談で、よもやTPP参加表明はないと約束できるか。

首相 基本は「聖域なき関税撤廃」を確認する。そのうえで、これまでの交渉経過とわが国へどのような影響があるか精査し、分析する。